

令和7年度学校評価における自己評価（7月実施）の結果

1 アンケート結果（教職員・保護者・生徒の共通質問に対する結果）

	評 価 項 目		A	B	C	D
1	あなたは（東深井小の児童は）、自分から気持ちのよいあいさつができています。	児 童	45.6%	38.0%	12.7%	3.7%
		保護者	23.1%	52.4%	22.2%	2.3%
		教職員	10.6%	57.4%	29.8%	2.1%
2	あなたは（東深井小の児童は）、学校に行くのが楽しい（楽しく通っている）。	児 童	48.1%	31.6%	13.2%	7.1%
		保護者	43.9%	52.4%	3.4%	0.3%
		教職員	34.0%	66.0%	0.0%	0.0%
3	あなたは（東深井小の児童は）、思いやりの気持ちを持って、仲間に接している。	児 童	60.3%	33.7%	4.3%	1.7%
		保護者	35.2%	58.2%	6.0%	0.6%
		教職員	25.5%	70.2%	4.3%	0.0%
4	学校行事や様々な活動が充実している。	児 童	51.2%	31.9%	10.9%	5.9%
		保護者	38.7%	50.7%	8.6%	2.0%
		教職員	59.6%	40.4%	0.0%	0.0%
5	あなたは（東深井小の児童は）、外遊びや適度な運動をして、基礎体力づくりをしている。	児 童	51.9%	27.9%	13.2%	6.9%
		保護者	37.4%	52.4%	11.7%	1.1%
		教職員	55.3%	36.2%	4.3%	4.3%
6	東深井小の先生は、わかりやすい授業をしている。（お子様は、集中して授業に取り組んでいる。）	児 童	65.6%	28.8%	4.8%	0.9%
		保護者	37.8%	49.3%	12.3%	0.6%
		教職員	37.0%	63.0%	0.0%	0.0%
7	あなたは（お子様は）、家で家庭学習（宿題等を含む）を行っている。	児 童	64.9%	22.7%	7.8%	4.5%
		保護者	47.3%	35.8%	15.5%	1.4%
		教職員	19.6%	58.7%	21.7%	0.0%
8	あなたは（東深井小の児童は）、授業に主体的（積極的に意見を发表或したり、自分で課題を解決したりなど）に取り組んでいる。	児 童	37.7%	39.8%	15.6%	6.9%
		保護者	25.4%	62.7%	10.7%	1.2%
		教職員	21.7%	60.9%	17.4%	0.0%
9	学校はICTを活用した授業づくりに取り組んでいる。（1年生は、ビデオなどを多く活用している）	児 童	49.7%	33.6%	10.6%	6.1%
		保護者	29.7%	57.3%	12.2%	0.9%
		教職員	40.0%	48.9%	11.1%	0.0%
10	あなたは（お子様は）、学校や日常の出来事を家でよく話をしている。	児 童	49.2%	30.2%	12.7%	7.8%
		保護者	45.3%	41.9%	11.1%	1.7%
		教職員	17.8%	73.3%	8.9%	0.0%
11	学校は、家庭への連絡を適切に行っている。	児 童	50.3%	36.0%	10.0%	3.7%
		保護者	47.9%	44.2%	7.4%	0.6%
		教職員	51.1%	48.9%	0.0%	0.0%
12	あなたが何かにつづき、先生に気軽に相談できる雰囲気がある。	児 童	40.9%	34.7%	17.0%	7.3%
		保護者	44.6%	43.4%	9.4%	2.6%
		教職員	53.2%	46.8%	0.0%	0.0%
13	学校は、学校・学年だよりやホームページなど情報を発信し、学校の様子をわかりやすく伝えている。	児 童	44.1%	37.8%	12.6%	5.4%
		保護者	41.7%	48.0%	9.4%	0.9%
		教職員	72.3%	27.7%	0.0%	0.0%
14	学校内外が整備され、学習に適した環境が保たれている。（清掃を一生懸命行い、校舎内外がきれいである）	児 童	47.2%	38.3%	10.4%	4.1%
		保護者	40.5%	48.4%	8.8%	2.3%
		教職員	14.9%	70.2%	14.9%	0.0%
15	学校は、地域を生かした活動や地域との連携に取り組んでいる。	児 童	54.2%	30.2%	10.6%	5.0%
		保護者	48.1%	43.3%	7.4%	1.1%
		教職員	58.7%	39.1%	2.2%	0.0%

A：そう思う B：ややそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない

考察)

1 評価項目1～5について：児童の学校生活全般について

- ・「あいさつ」について、児童、保護者、教職員の三者で大きく評価が分かれた。児童の約84%は、「自分からあいさつができています」と考えているが、保護者や教職員のC・Dの評価がそれぞれ24.5%、31.9%となっており、もう少しできるのではないかという意見が目立つ。児童の自由記述の中にも「あいさつをしても返ってこない」という課題を感じている児童もいる。
- ・「学校に行くのが楽しいか」の項目では、三者とも「楽しい」と考えている割合が非常に高い。しかしながら、児童全体の約20%がC・Dと答えており、今後も一人一人の児童について、きめ細やかに見ていく必要がある。
- ・「思いやり」の項目については、三者とも約90%以上がA・Bの評価をしており、東深井小の児童は全体として、思いやりのある優しい児童が非常に多いことを示している。実際の児童の学校生活の中でも同学年のみならず、高学年が低学年に対する接し方も非常に優しく接している場面を多く見る。
- ・学校行事や活動、そして日常的な外遊びなど、充実していると考えている。夏季については、WBGTの値により思うように外遊びができない現状があり、体育館の割り当て開放などで対応しているが、子供たちはやはり外で走り回りたいという欲求が高い。

2 評価項目6～9について：児童の学習・授業等について

- ・授業について、児童のアンケートの記述でも「授業がわかりやすい」などの記述も多く見られ、結果でも約95%が「わかりやすい」と答えている。しかし、全国学力学習状況調査等では、基礎内容の定着に課題があり、家庭学習の習慣化等も含め今後の課題である。
- ・児童の授業への取り組みについて、77.6%が主体的に取り組んでいると答えている。しかしながら22.5%の児童がそうではないと考えている。授業は「わかりやすい」と回答している割合が多いので、毎時間の授業に、より主体的に取り組むことができる授業を展開していけるよう工夫することも大切であると考えます。
- ・ICTの活用については、タブレット端末の貸与が開始されて5年が経とうとしている。導入当初は、タブレットを使うことが目的になってしまっていた状況もあったが、現在では授業における有効な活用について考えながら使っている状況である。今後、施設等を含めさらに活用が進んでいくと考えられるので、対応していきたい。

3 評価項目10～15について：その他児童の生活全般について

- ・各家庭において、学校や日常生活のことを家であまり話していないと回答している児童が20.5%いる状況がある。保護者についても12.8%が同様に回答している。この割合は昨年度と比べると改善しているが、依然として児童も保護者も日常の忙しさから十分に話す、話を聞く時間が取れない現状があるのではないかと考える。
- ・学校から家庭への連絡は概ね適切に行われていると評価いただいている。昨年多くのご意見をいただいた「翌月の下校時刻は、できるだけ早く知らせしてほしい」との要望に対しては下校時刻を2か月分お知らせすることで善処してきた。日常的な連絡についても、より丁寧にご家庭を連絡できるようにしていきたい。
- ・「先生に相談しやすいか」の項目について、75.6%の児童が「相談しやすい」と回答しており、非常に高い値は示しているが、逆に約24%は「相談しにくい」と回答している。発達段階（学年）によっても違いはあると思うが、すべての児童にとって“先生”が相談しやすい存在であるよう、今後も努めていきたい。
- ・学校の情報について、児童も保護者「わかりやすく情報発信している」と回答している。児童が「HPをよく見ている」などの声も聞くことがある。今後もできるだけ多くの情報を発信し、学校の様子をわかりやすく伝えていきたい。
- ・学校内外の環境について、学校自体は50年を超える歴史を持つ学校ではあるが、やく85%の児童が「学習に適した環境が保たれている」と回答している。また、児童の自由記述の多くに「もう少し清掃を一生懸命やるべき」との内容が書かれており、高い意識を持っている。
- ・地域との連携について、高い値を示している（児童の85.5%、保護者の91.4%）。学校としても学習や地域との交流など、様々な面で保護者や地域の方々のご協力をいただいているところであり、今後も子供たちの学習や活動に対して、多くのご協力をいただけるよう努めていきたいと考える。